

「2020改革プラン〈バージョンアップ（改定）版〉（素案）」に関する御意見について

※いただいた御意見は、「2020改革（総論）」「しごと改革」「見える化改革」「仕組み改革」「施設サービス魅力向上プロジェクト」「その他」の6つの項目に分類し、原則、原文のまま掲載しております。

◆2020改革（総論）

番号	御意見
1	各局が改革を競いあっていく、ということはわかりましたが、より競いあっていくためにも、改革を頑張った局には予算や人員の自由枠を設けるなどメリットを与えてみてはどうでしょうか。
2	どの改革資料もそうだが、目標値が数値で設定されていない。民間の計画書の右側は必ず目標数値が設定され数値で進捗を見る。基本中の基本。その証拠に既に開始して1年経つものがあるが、現在の進捗がまるで分からない。これから目標を決めるなどもある。小池都知事がいなくなるまで形だけのもの？やる気が感じられない。

◆しごと改革

番号	御意見
3	職場においてペーパーレス化はスムーズな情報伝達やコスト削減に寄与しますが、職場のパソコンが使えない職員にはかえって情報が疎遠になる恐れがあります。職場のパソコンを使えない職員への配慮をお願いします。
4	これを読んで思ったことは、都庁内で情報の共有をすることはマストにしてほしいということ。同じ都庁内なのに、同じ資料を複数の部署に、それぞれ提出することは馬鹿らしいし、ペーパーレスにもなってない。デジタル仕事改革は都民サービスの向上のためにも進めてほしい。
5	はんこレスの取組みがあるが、活動内容は都庁内のみ？都民に向けての東京都が扱う書類の電子承認化、ペーパーレスの取組みは無いのか？併せて、新元号となるが、行政は相変わらず和暦の書類。和暦は使い続けるものなれど非常に非効率。民間書類で和暦などない。行政として都民のしごと改革にも目を向けるべき。
6	デジタルしごと改革を進めるのはいいが、都庁内の情報インフラがそもそも脆弱なのではないか。動画を職員の端末で見られないとか5M程度でメールがはねられるとか、クラウド利用は庁内の規程がとか、都と仕事するのはとかく手間が増えて面倒。そのような環境で最新のテクノロジーを十分活用できると考えにくく、職員もICT技術の効果が実感しづらく活用しようと思わないのではないか。
7	ペーパーレスを進めるためには環境整備が必要だと思います。例えば、誰が何枚印刷しているかわかる環境なのか、そこに指導が入る環境なのかという点が重要です。単なる声掛けで終わることなく、職員の環境に目を向けて取り組んでいくべきだと思います。
8	キャッシュレスも是非進めていってください。すべてがキャッシュレス化された東京こそが「新しい東京」の形だと思います。

◆見える化改革

番号	御意見
9	市場の見える化、食育、魚食の推進で、業者と協力して講習会、見学案内の充実を図るとありますが、日本一の大田市場のフラワーアレンジメント教室、ようやく開場した豊洲市場のいちば教室がともに往復葉書でないと申し込みできないことになってました。いまだに送料負担し、しかも情報セキュリティに不安の残る方法でしか受け付けしない現状に本気で食育推進、市場の活性化に取り組む気があるのか疑問です。
10	教育の新団体設立は、団体設立に終わることなく、しっかりと教員の支援になるような内容にしてほしいです。生徒向けの施策というのではなく、基本的には、教員に対する支援でそれは実現すると思います。教員の働き方改革につながる団体にしてほしいです。

◆仕組み改革

番号	御意見
11	監理団体・報告団体は関係団体全てではない。少なくとも東京都からトップとして再就職(天下り)している団体はこの管理の中に入れるべきである。

◆施設サービス魅力向上プロジェクト

番号	御意見
12	都立公園内では営利事業が制限されているため、魅力的なレストランやカフェなどが無い。民間を使い、質を高めてほしい。むかしあった遊具も撤廃されているが、お金を払っても公園内で遊びたい場合もある。スポーツに親しむ創意工夫がほしい。

◆その他

番号	御意見
13	現在の日本では学歴について最低でも高校を卒業していないと就職で不利になる傾向があります。教育の多様化、費用補助を図って、不登校、貧困等でも高校卒業や高校卒業認定が得られるような政策を東京都が率先して行うことを期待しています。